

国指定鳥獣保護区における渡り鳥の状況について

	国指定鳥獣保護区 名	主な渡り鳥の種類 〈飛来期間〉 ※1	現在の渡り鳥の主な種類 及び羽数(概数) ※2	備 考 ※3	※ 4
北海道	はまといんべつ 浜頓別クッチャロ湖 (浜頓別町)	コハチヨウ、 マガモ、オマガモ	ハチヨウ類 1,600 羽、 オマガモ等ハチ類 5,000 羽	※主に渡去の中継地 飛来のピークは過ぎた。 (5/6 現在)	北海道
	みやじまぬま 宮島沼 (美唄市)	マガシ 約 5 ～ 6 万羽 〈秋期 9 月下旬 ～ 10 月 下旬、春期 4 月〉 他にオマガモ等ハチ類、 コハチヨウ等ハチヨウ類	ハチヨウ類 3 羽 マガシ 700 羽 ハチ類 17 羽 等	※主に渡去の中継地 ほとんどのガン、カモは 渡去した。 (5/4 現在)	
	ウトナイ湖 (苫小牧市)	ハチヨウ類 〈11 月上 ～ 1 月上旬〉、ハチ類 〈10 月 上 ～ 1 月上旬〉 など		※主に渡去の中継地 渡りはほぼ終了。 (5/7 現在)	
青森県	こみなと 小湊 (平内町)	オハチヨウ、オマガモ、 キンロハシ、エリカメ		渡去終了。 (5/7 現在)	東北
秋田県	おおがた 大湯草原 (大湯村)	マガモ、オマガモ等ハチ類 〈10 月上 ～ 3 月下旬〉 コハチヨウ等ハチヨウ類 ヒシイ、マガシ 〈10 月下 ～ 3 月下旬〉		既に渡去終了	
山形県	最上川河口 (酒田市)	オマガモ、オハシ、キン ロハシ等ハチ類 オハチヨウ、コハチヨウ 〈10 月中 ～ 4 月中旬〉	オマガモ 約 50 羽	渡去中。 (5/2 現在)	
宮城県	伊豆沼 (栗原市、登米市)	マガシ 3 万羽 〈10 月下旬 ～ 3 月〉	ハチ科鳥類 約 250 羽	越冬中。 (5/3 現在)	
兵庫県	はまこうしえん 浜甲子園 (西宮市)	ハチ類 〈9 月中 ～ 4 月下旬〉 シ・チドリ類 〈4 月中 ～ 5 月下旬〉	ハチ類 19 羽 エリカメ 157 羽	渡去中。 (5/4 現在)	

鳥取県 ・ 島根県	なかうみ 中海 (米子市、境港市、安来市、松江市、東出雲町)	鶺鴒 約5万羽 〈10月中～4月末〉	鶺鴒 4,830羽 (3観測点の合計)	コハチヨウは渡去終了。 鶺鴒は渡去後半。 (4/21～27現在)	中国・四国
島根県	しんじこ 宍道湖 (松江市、出雲市、斐川町)	マガモ、コハチヨウ、鶺鴒 約4万羽 〈10月中～4月末〉	鶺鴒 2000～3000羽	渡去の終盤。 (4/21～27現在)	
福岡県	わじろひがた 和白干潟 (福岡市)	ヒドリガモ、マガモ等鶺鴒 〈10月～3月〉 ハマシギなどシギ類 〈9月～4月〉		既に渡去終了	九州
宮崎県	きりしま 霧島 (都城市、高原町)	マガモ等鶺鴒 〈10月～4月〉		既に渡去終了	
鹿児島県	いずみ たかおの 出水・高尾野 (出水市)	ナベヅル、マヅル等ツル類 〈10月～3月〉 ヒドリガモ、マガモ等鶺鴒 〈10月～3月〉	ナベヅル 6羽 ヒドリガモ 300羽 マガモ 30羽 等	ナベヅルは全て幼鳥。 マヅルは渡去終了。 鶺鴒も徐々に減少。 シヤマガラスも見られない。 (4/27現在)	

注：標記の内容は、各保護区を管轄する環境省の各地方環境事務所等が、業務報告や地域等からの聞き取り等により収集した保護区内の渡り鳥の状況を取りまとめたものである。

※1：業務報告、聞き取り等により推定した一般的な例年の状況である。

※2：情報収集した時点で可能な限り把握した内容であり、分布状況、地形、時間、天候等により確認不能な場合があるため、全てを確認したものではない。

※3：情報収集時点で推定される状況を、業務報告や聞き取り等により把握したものである。

※4：標記の各保護区を管轄する地方環境事務所及び自然環境事務所。